



恒久平和を誓う



6月16日、える夢館で平成27年度豊頃町戦没者追悼式が行われ、遺族や来賓など55名が参列し、本町の戦没者68名をしのびました。

午前11時にサイレンの吹鳴とともに参列者全員による黙とうが行われました。

宮口町長は「私たちが当たり前のように享受している平和と繁栄が、戦禍の中で散華された多くの方々の尊い犠牲の上に成り立っていることを忘れてはならない」と式辞を述べました。

また、町殉公遺族会の多田誠一会長は「私たち遺族は、皆様の残された偉業を胸に抱き恒久平和達成のため今後も一層の努力をいたして参ります」と追悼の辞を述べました。

子どもたちが地引き網体験学習



6月19日、長節湖で大津小学校全校児童と豊頃小学校の4年生、大津保育所の子どもたちが参加し、地引き網体験学習を行いました。

子どもたちは一生懸命網を引き、網が岸まで来ると網の中の魚が元気よく跳ね、子どもたちは歓声をあげていました。

捕った魚はかごに入れられ、指導に訪れた十勝地区水産技術普及指導所の職員から種類や名前、特徴について説明を受けた後、再び長節湖に放されました。子どもたちはその後シジミ狩りをするなど、楽しい経験とおして地域の基幹産業である漁業の理解を深めました。

小学校、保育所で人権の花運動



5月28日に茂岩保育所、豊頃小学校で、6月12日には大津小学校でそれぞれ『人権の花運動』が行われ、マリーゴールド、サルビア、ペコニアなどの花の苗が町から贈られ、児童たちが1本1本ていねいに花壇に植えました。

この運動は、小学生と保育所を対象に花壇等に花の苗を植え、花を育成することを通して感謝の心や思いやりの心を育むことを目的とした運動です。

豊頃町人権擁護委員の鳥宮慶法さんは「花を植えた後は、水をやって秋まで育ててください。育てることを通して周りの人たちへの思いやりの気持ちを養ってください」と話していました。



第1回総合教育会議



5月27日、える夢館委員会室で第1回総合教育会議が開催されました。

同会議は今年度から新教育委員会制度が施行されたことを受けて設置されたもので、当日は宮口町長、菅原教育長、各教育委員などが出席し、教育の指針となる町教育大綱の目標について「報徳のおしえを育む教育、生涯にわたって学ぶ人づくり」と決めました。

町教育大綱の策定では、町民憲章にもある『報徳のおしえ』を小中学生から学習し、町民の意識を高める方針です。

ライオンズクラブが少年団に助成金



6月15日、豊頃ライオンズクラブ（久世会長）が、豊頃町スポーツ少年団本部（林俊則本部長）に助成金を贈りました。

この日は、久世会長がえる夢館を訪れ、林本部長に助成金を手渡しました。

この助成金は毎年贈られているもので、町内の少年団の活動費の充てられます。

林本部長は、「スポーツ活動を頑張っている子どもたちにとって、毎年とても貴重なご支援をいただき、ありがとうございます。今後の少年団活動に役立てていきたいと思っております。本当に助かります」と話していました。

町内小中学校緑の募金運動



平成27年度『緑の募金運動』が、北海道と緑の会主催により実施されました。

『緑の募金運動』とは、公益社団法人北海道森と緑の会が実施主体で行われ、地球規模での森林づくりを進めることを目的に、『緑の募金』が重要な緑の普及啓発活動であるとの認識のもとで、全道の市町村緑化推進委員会等と連携し行われる運動です。

例年通り、豊頃中学校生徒会、豊頃小学校児童会や大津小学校児童会などの各団体が協力し、今年度は58,938円の寄付金が集まりました。

▽はるにれは見ていた
広報とよころ

▽はるにれは見ていた
広報とよころ

役場だより

役場だより

